

生活支援コーディネーター配置業務

☆国の考え方（生活支援体制整備事業）

■.生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）

○ 高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能（主に資源開発やネットワーク構築の機能）を果たす者を「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」（以下「コーディネーター」という。）とする。

■.協議体

○ 市町村が主体となり、各地域におけるコーディネーターと生活支援・介護予防サービスの提供主体等が参画し、定期的な情報共有及び連携強化の場として、中核となるネットワークを「協議体」とする。

■.コーディネーターと協議体によるコーディネート機能の考え方

○ 日常生活ニーズ調査や地域ケア会議等により、地域の高齢者支援のニーズと地域資源の状況を把握していくことと連携しながら、地域における以下の取組を総合的に支援・推進。

- ① 地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起
- ② 地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけ
- ③ 関係者のネットワーク化
- ④ 目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一
- ⑤ 生活支援の担い手の養成やサービスの開発（担い手を養成し、組織化し、担い手を支援活動につなげる機能）
- ⑥ ニーズとサービスのマッチング

○ コーディネート機能は、概ね以下の3層で展開されることが考えられるが、生活支援体制整備事業は第1層・第2層の機能を対象とする。

- ・第1層 市町村区域で①～⑤を中心に行う機能
- ・第2層 日常生活圏域（中学校区域等）で、第1層の機能の下、①～⑥を行う機能
- ・第3層 個々の生活支援・介護予防サービスの事業主体で、利用者と提供者をマッチングする機能

☆.堺市での生活支援コーディネーター

■.配置経過

- ・平成27年4月より社会福祉協議会に第1層の生活支援コーディネーターを配置
- ・平成28年1月より中区第1圏域をモデルに堺市における第2層コーディネーターの業務内容を実践を通して検討

■.業務内容（H28年度仕様書）

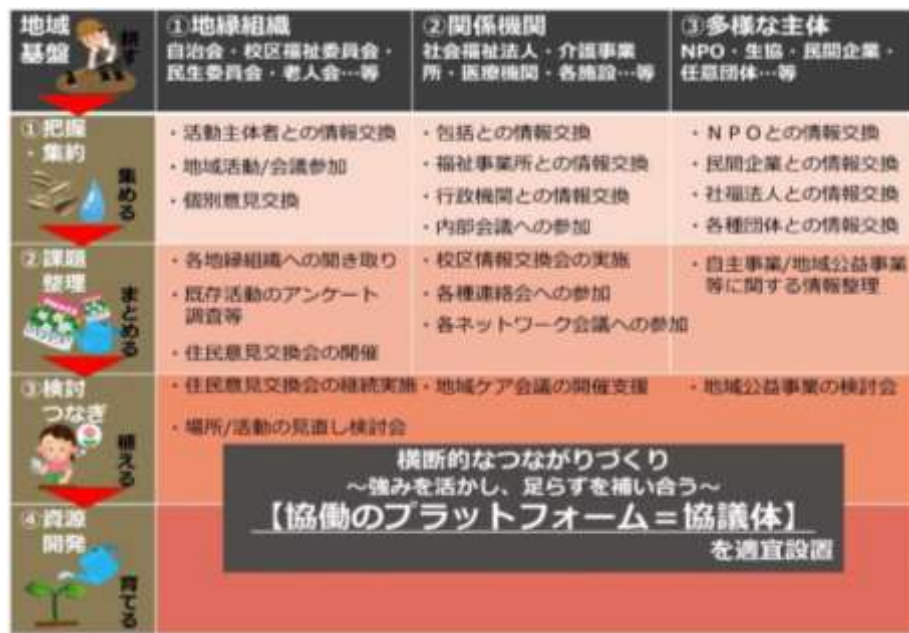
次の業務を通じてNPO、民間企業、協同組合、ボランティア、社会福祉法人等多様な地域資源を活用しながら生活支援・介護予防に係るサービスの基盤整備を行うこと。

また、中第1圏域において、地域支援事業実施要綱（厚生労働省老健局長通知）に定める第2層の生活支援コーディネーター業務をモデル実施し、堺市における業務のあり方の検討を行うこと。

- ①地域ニーズと資源の状況の見える化、問題提起
- ②地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけ
- ③関係者のネットワーク化
- ④目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一
- ⑤生活支援の担い手の養成やサービスの開発

☆堺市における第2層コーディネーター業務のモデル実施

■.生活支援コーディネーター業務スキーム



※行動内容：以下を基本に上記の内容を主に実施

《基盤整備》地域を知る・理解する⇔知ってもらう・理解してもらう
《把握・集約》地域アセスメントを通して資源情報や活動状況を把握
《課題整理》地域課題を整理し、必要な資源や取り組みを考察する
《検討・つなぎ》整理した課題を共有し、地域内でできること/すべきことを多様なメンバーで横断的に検討する
《資源開発》既存の取り組みへの工夫や新たな資源の開発を行う

■.地域への仕掛け ～地域をいかに把握し理解するか～

～住民意見交換会の開催～

『事業への理解促進と地域でできることを住民主体で考える場』
～開催までのプロセス～

- ①地縁組織のトップへ事業説明（複数回）
- ②開催方法や周知について意見交換（複数回）
- ③開催案内の作成/地縁組織から各種団体へ発信
- ④当日（コーディネーターは講師兼ファシリテーター）

～校区情報交換会の実施～

『包括・保健センター・社協で把握している地域情報の交換会』

～実施効果～

- ・地域課題や支援者の役割の共有から、地域支援の方向性の統一→アセスメントと連携の強化（事例③④⑤などへ発展）

上記の取り組みから下記の取り組みへ展開

■.生活支援コーディネーター事例（別添）

～地縁組織/地域団体との協働～

- ①「町会単位の活動展開」と「男性高齢者のための活動創出」
- ②「UR集会所の有効活用を切り口にした資源開発」
- ③「市営住宅内活動の見直しと活動創出」

～社会福祉法人との協働～

- ④「事業所空きスペースを地域のために有効活用」
- ⑤「地域公益事業に絡めた活動創出」

～その他/資源のタネなど～

■.モデル実施を通してのまとめ

堺市の地域特性上、地縁組織を外して当事業の推進はできない

(1) 社会福祉協議会の基盤の活用

- ・既存の関係性やネットワークを活かした事業展開が可能である。
- ・幅広い事業展開を実施し、窓口へ資源情報が随時入る。
- ・地域アセスメントにおいてすでに把握できている情報量が多い。

(2) 校区より小単位における活動創出の必要性

- ・住民ニーズや校区単位より身近な場所での活動希望が多い。
- ・高齢者が歩いていける範囲となると校区単位では規模が大きい。
- ・校区単位の活動は組織の縛りなどが多く、柔軟な取り組みを行いたい

(3) 協議体設置と資源開発/活動創出のポイント

- ・一つの場所や活動をキッカケとして、多様なメンバーで協議する場面がモデル期間中でもすでに複数ある。
- ・協議体は点から広げていくイメージで、複数個所で開催されてきたときに市/区等の広域的な協議体を設置していくほうが良い。
- ・既存の取り組みで足りない部分を新たな仕掛けで創出していく必要がある。

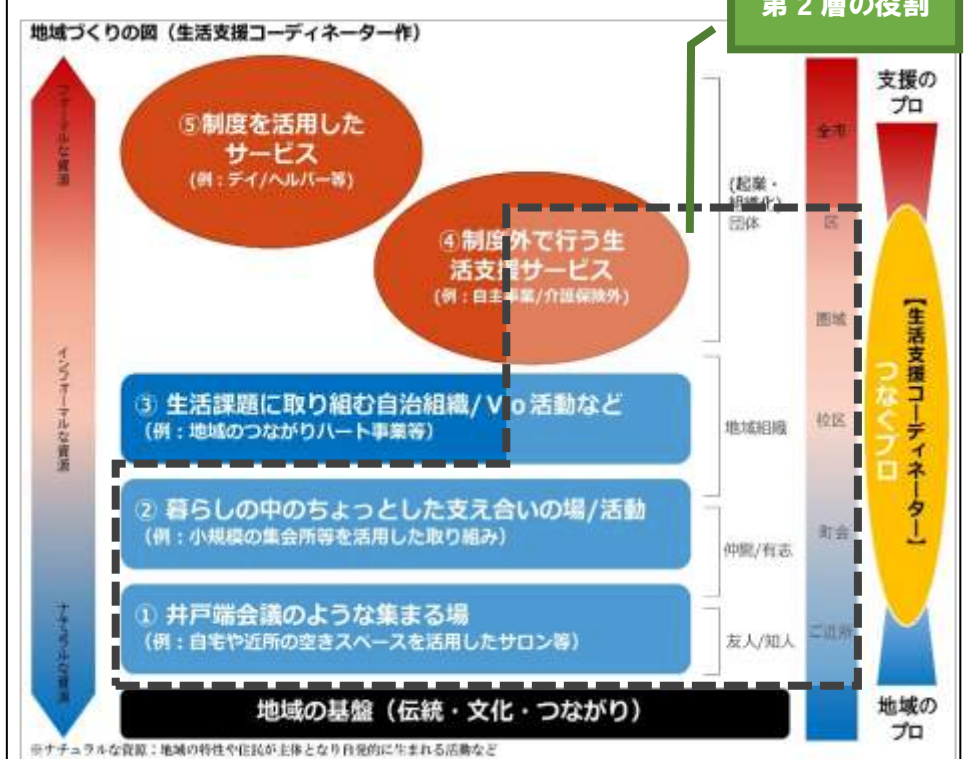
■.提案

(1) 生活支援コーディネーターの配置

- ・校区より小単位への支援が必要となり、圏域に1名は必要である。
- ・社協の既存事業の強みが活きるため、社協内での配置が望ましい。

(2) 生活支援コーディネーターの業務内容

- ・全市的なサービスから小単位の活動まで幅広く取り扱う必要がある。
- ・幅広い実施主体を横断的につなぐ役割を担う。
- ・第2層については、下図の①②支援が中心となる。



- ・③は校区福祉委員会や地縁組織活動等、各校区で展開されている
- ・①②は地域を基盤とした小単位の活動や取り組みであり、介護予防を推進していくにあたって重要視されている社会資源である。
- ・⑤の住民主体サービスや④の充実も将来的に必要であり、①②③から発展的に広がることを意識する必要がある。

事例①：「町会単位の活動展開」と「男性高齢者の活動創出」

※ H28.10 月末現在

■.過 程

① 連合会長兼福祉委員長と今後の地域づくりの方向性について協議

→地域の実情や状況から町会単位での活動展開を行いたい（会長）

② 生活支援コーディネーターのモデル実施をキッカケに第 1 回住民意見交換会を企画

→会長の思いや考えを、町会長をはじめとした役員と共有したい（会長）

会長から各町会役員や地縁組織に案内をしてもらう



単位自治会長・民生委員・自治連合会役員

…など 24 名参加

③ 第 1 回住民意見交換会の開催（※下記に主な意見一覧あり）

→生活支援コーディネーターより「介護保険改正とこれからの地域」について講話

→これからの地域づくりについて意見交換を実施

④ 会長と第 1 回住民意見交換会の振り返りと第 2 回住民意見交換会の企画

→校区内でも各団体が何をしているのかわからない。ヨコのつながりをつくりたい（会長）

第 2 回住民意見交換会のテーマを「ヨコのつながりづくり」として企画



⑤ 第 2 回住民意見交換会の開催（※下記に主な意見一覧あり）

→老人会/民生委員会/更生保護女性会/校区福祉委員会/V o 団体から活動報告と悩みの共有

悩みについて解決できそうなことを意見交換

⑥ 会長と第 2 回住民意見交換会の振り返りと今後の地域づくりに関する企画

→「身近な通いの場づくり」と「男性の巻き込み」の 2 本柱で地域づくりを企画



「町会単位での喫茶活動」：各町会でプレ実施。50～100 名の参加者あり

「男性が来やすい活動づくり」：11 月に地元神社の清掃活動後、交流会を予定

校区エリア



事例②：「UR集会所の有効活用を切り口にした資源開発」

※H28.10月末現在

■.過 程

① UR管理会社とUR団地の現況と課題等について意見交換

「団地内集会所の利用率がほぼ0%。UR側としても活用してもらいたいが、相談先がない…」

② 包括とともに場の活用について検討

→関係機関としても団地エリアの実態把握がうまくできていないのが現状

③ 場の活用と今後の支援についてNPOや大学と情報交換

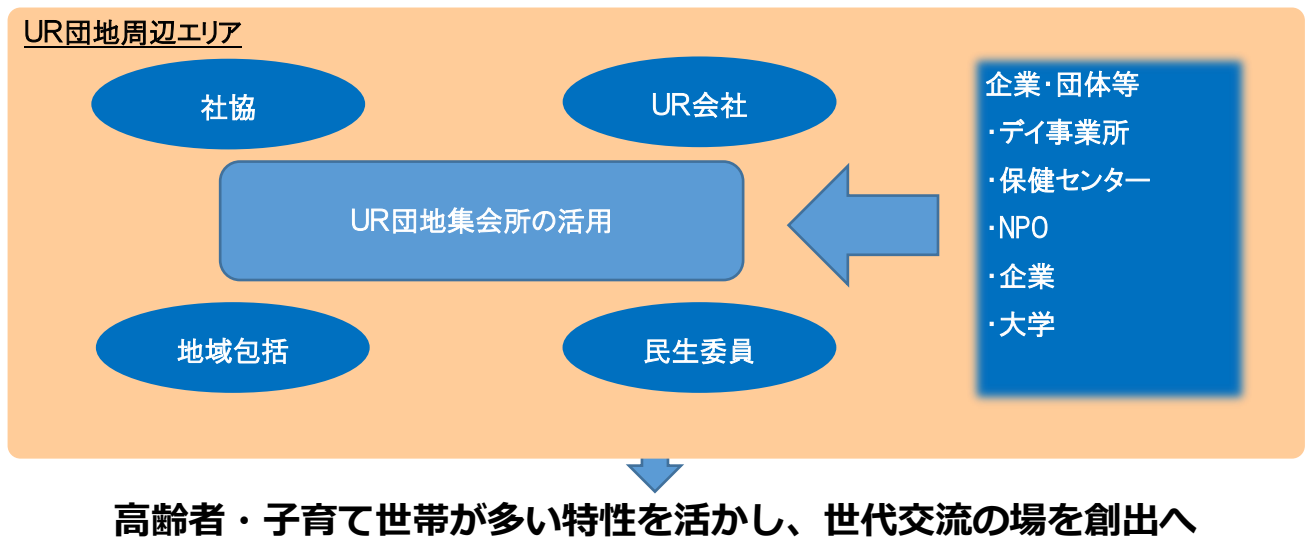
- ・NPO：こども食堂モデル事業との連動を検討
- ・大学：現場のニーズ調査等への学生の介入について検討

④ 校区民生委員定例会にて意見交換

→当エリアの現況と支援状況について情報共有

⑤ 下記のメンバーで協議体を結成し、場の有効活用とエリアの活性化について協議を予定

→場があればプログラム提供できる団体との協働も視野に入れている



～UR団地概況～

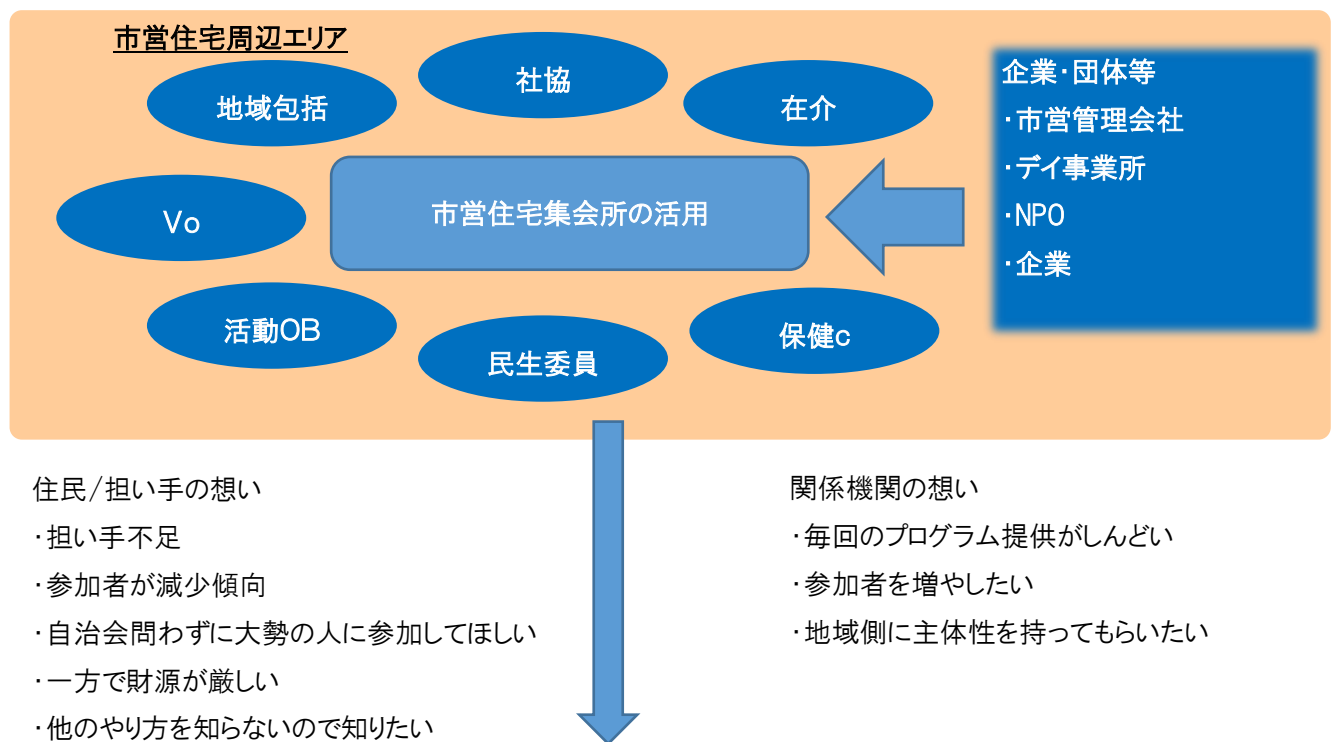
- ・720戸(入居者650戸)/自治会なし
- ・ファミリー物件
- ・高齢者253世帯(40%)
- ・担当民生委員2名
- ・最近では高齢者からの申し込みが多数ある

事例③：「市営住宅内活動の見直しと活動創出」

※H28.10月末現在

■.過 程

- ① 校区情報交換会より、保健センター/包括から活動支援について相談
- ② 市営住宅活動の担い手と民生委員へ調整
- ③ 今後の活動を考える場（協議体）を生活支援コーディネーターがコーディネート
（※下記にそれぞれの想いあり）
- ④ 住民側から出た意見を元に企業・団体への調整
場があればプログラム提供できる企業等の活用を視野に入れる
- ⑤ 下記のメンバーで今後も協議を重ね、エリアの現況にあった効果的な活動づくりをめざす



想いに伴走した結果…

民間企業等の力を活用した参加者増と、新たにふれあい喫茶活動を創出



～市営住宅周辺エリアの概況～

- ・自治会加入率 30%(60/200)
- ・H22 に市営住宅立替済み
- ・近隣に府営住宅あり

～関わり当初の状況～

- ・現在Vo担い手2名+協力者2名
- ・関係機関が毎回プログラム提供

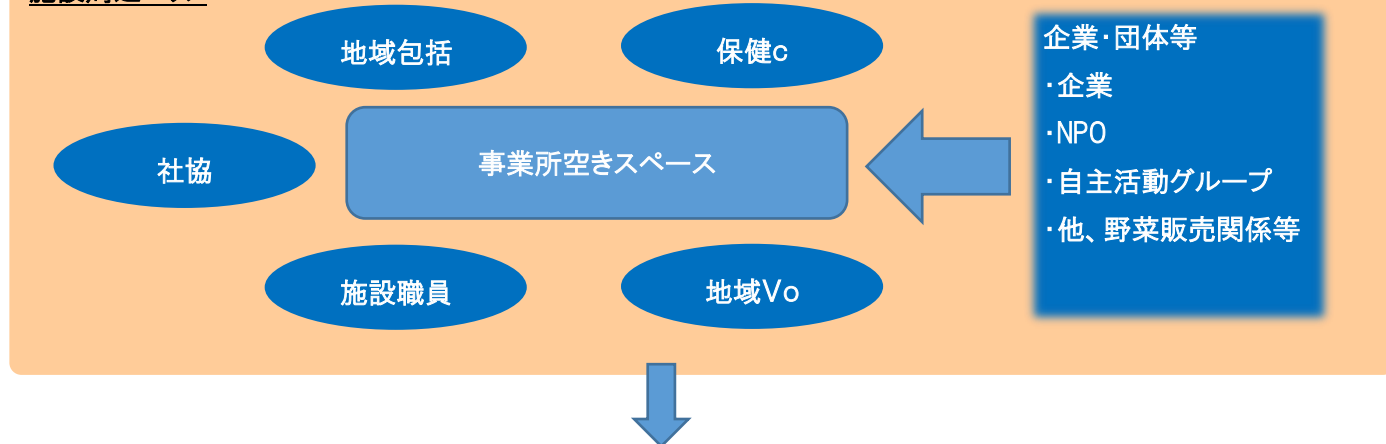
事例④：「事業所の空きスペースを地域のために有効活用」

※H28.10月末現在

■.過 程

- ① 施設長と介護保険改正と地域づくりに関する情報交換
→事業所内で空きスペースがあり、有効活用したい（施設長）
- ② 施設長・生活支援コーディネーター・包括職員で空きスペースの有効活用について意見交流
→地域の住民が気軽に立ち寄れる場+予防的な効果のある場/誰もが利用できる場…をコンセプトに考えていく
- ③ 可能性について情報収集
→野菜販路について確認（堺市農水産課/事業所）
→校区の学童利用状況確認（当エリアの小学校では空きに余裕がある状況）
- ④ 地域ボランティアへの情報共有とアイデアを募集
- ⑤ 下記メンバーで空きスペースの有効活用について検討を予定
→地域協議会や地域密着型デイサービスの運営推進会議の効果的な開催も視野に入れている

施設周辺エリア



11月にこども食堂（高齢者参加型）を堺市こども食堂モデル事業とコラボ実施



50名程度が利用できるスペース

《活用例～検討より～》

- ① 自主活動グループへの場所貸し
→太極拳等の場所として
- ② こどもの居場所づくり
→放課後の学習スペース等
- ③ 憩いの喫茶
→セルフサービスでの実施
- ④ 地元野菜等の販売
→集うキッカケづくり

…などを複合的に開催できるようなイメージで検討中

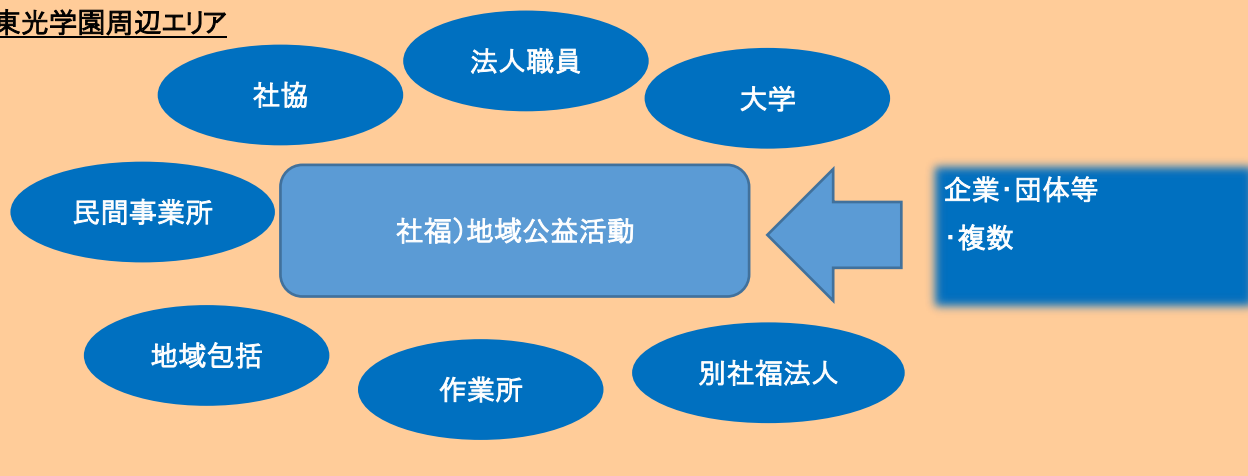
事例⑤：「社会福祉法人/地域公益活動に絡めた活動創出」

※H28.10月末現在

■.過 程

- ① 社福法人/地域公益事業の実施に向けて、法人職員から生活支援コーディネーターへ相談
- ② 法人が主となり運営委員会を立ち上げ。生活支援コーディネーターも運営委員のメンバーとなる
- ③ 毎月1回運営会議を実施し、地域貢献の取り組みを協議
 - ・法人内の空きスペースの有効活用等について検討
- ④ 住民啓発イベントとして、5/15「ふれあいスマイルフェスティバル」を開催
 - ・地域にまずは知ってもらうことを目的に実施
- ⑤ イベント実施後の地域公益活動について、運営委員会で継続して協議を実施中

東光学園周辺エリア



地域に根ざした施設をめざして、空きスペース等の有効活用を検討

区内の法人との横断的なネットワークを組み、新たな活動や企画推進を展開中



～5/15 ふれあいスマイルフェスティバル概況～

- ・複数の民間企業や商店とコラボ
- ・老若男女 600 名以上が参加
- ・地域役員も複数参加
- ・行政まちづくり関係との協働も実施

その他/資源のタネなど （参考例）

■.新聞販売店

- ・ほっと見守りサービスやまごころサービスなど、購読者向けの自主事業を展開中
 - ほっと… : 新聞が溜まっているときに、配達員が相談機関へ連絡する仕組み
 - まごころ… : 500 円で簡易な生活支援が受けられるサービス
- ・実施者を募集し、最低賃金が支払われる仕組みを作っている
- ・新聞を使った脳トレや作り方等の講座開催が可能
- ・エリアの購読者向けの広報誌を毎月発行（9000 部）

■.牛乳宅配業者

- ・遠方の家族の要望に応え、見守り目的での配達等を実施中
- ・血圧/血流/骨密度検査を出張で行っている
 - 5 人以上の集まりであれば無料で出張可能

■.その他

・ N P O

→場所があれば、介護予防運動「ふまねっと」のプログラム提供が可能

・ 食品会社

→地域貢献のための野菜販売等であれば、仕入れ値程度での提供可能

・ 食品会社

→食料加工品を幅広く取り扱っており、場所さえあれば提供可能

・ 介護事業者

→自主事業で「夢の駅」を展開（夢の駅：1 日 1500 円で高齢者利用できる遊びの場）